

S.G. Report

平成30年度

1年夏季研修

熊本大学

今年度は1年生全員を対象に夏季研修の希望を取り、154名の生徒がそれぞれ希望するところで1泊2日～2泊3日の研修を行いました。8月6日(月)～7日(火)に64名の生徒が、8月9日(木)～10日(金)に13名の生徒が熊本大学へ以下の日程で研修に行きました。

【研修日程】

≪1日目≫

- 9:10～ 開校式
 9:30～ 研修① 本研修の概要説明、参加する留学生の自己紹介など
 10:00～ 研修②
- I) 留学生(または日本人学生)による母語紹介、熊本での学生生活や研究についての紹介
 - II) グループワークを進める上での留意点など
 - III) 留学生とのグループ交流(グループ(個人)分け、自己紹介、留学生の国の紹介、大学生活について、個人レポート等に関する質問等、テーマの話し合い)
 - *共同開発研究センター、自動車開発センター、ロボット開発センター等
- 12:00～ 昼食
 13:00～ 研修③ 留学生とのグループ交流
 *発表テーマ決定。学生は約30分ごとにグループを移動。テーマに関する質問
 14:45～ 研修④ フリーインタビュー(留学生が各グループにつきサポート)
 *ポスタープレゼンに向けてのデータ収集を兼ねたフリーインタビューの準備・実施及び留学生とのディスカッション
 *アンケート結果検証のために、グループごとのテーマに沿ってアンケートの取り方等、留学生にアドバイスをもらいながら行う

- 16:30～ 宿泊施設へ移動、夕食、入浴
 19:30～ 研修⑤ 1日の振り返り、翌日の準備

≪2日目≫

- 8:15～ 朝食、移動
 9:00～ 研修⑥ ディスカッション・まとめ
 (留学生が各グループにつきサポート)

*グループ(個人)ごとに交流で学んだ内容をまとめ、ポスター作成など発表の準備を行う。留学生はいずれかのグループ(個人)に固定で英語のサポートに当たる。



- 12:00～ 昼食
 13:00～ 研修⑦ 発表準備 グループごと(各個人)テーマに沿って発表を行う
 14:00～ 研修⑧ グループ(個人)による英語プレゼンテーション発表
 *各グループ(個人)が研究テーマに沿った発表(発表7分+質疑応答2分)
 留学生よりコメント
 16:10～ 閉校式
 16:30～ 閉校式



【生徒感想】(おおむね原文のまま)

●研修を受ける前日まで私はできるだけ完璧なプレゼンテーションをしたいと思っていた。留学生にプレゼンテーションの作り方や上手な発音の仕方、おもしろい表現など、できる限り取り入れ、すばらしい発表をつくりたいと考えていた。当日もそのような意気込みで臨んだ。しかし英語でプレゼンテーションするのは初めてのうえ、慣れないメンバー環境で困ることがたくさんあった。そんな時、私のグループにきた外国人の先生が「完璧なものを作るよりも、調べたいと思うことを調べあげ、まずは形や言葉にしていくことが大事だよ」というような内容を話された。これを聞き、「完璧な発表も大事だがそれより精一杯取り組んで相手に伝えることが大事だ」と私自身考えるようになった。相手に自分達の考えをしっかりと伝えたいと強く思うようになった。しかし、それは難しかった。10分ごとにグループに留学生がまわってこられた時、それぞれ8つの質問を準備していた。しっかり担当の留学生に正しい文かどうか確認していただいたので伝わるだろうと思っていたのだが、そう簡単にはいかなかった。留学生の方々は様々な国から来られているので少しずつ母国で使う同じ英語でもイントネーションが違っていった。上手く伝えられず、困ることがたくさんあった。しかし、徐々にジェスチャーや言い換えがうまくできるようになり、話がつながるようになった。「伝えたい」「話したい」「理解したい」という気持ちの強さ次第で会話が弾むか弾まないかは大きく違ってくるのだということも学んだ。このことは、日本語で話す時も同じなのではないかと考える。日本人は外国人と比べると、話す際にあまりジェスチャーをしない。しかし、表情を変える、あいづち、声の大きさ、トーン、などは気持ち次第で抑揚として変わってくると思う。このようなことが、プレゼンテーションの上手、下手にもつながってくるのではないかと思う。「伝えたい」という強い気持ちを持って、相手とのコミュニケーションを上手くとれるようになりたい。今回の研修でプレゼンテーションの方法はもちろん、日本で普通に暮らすだけでは味わうことのできない体験ができたと思う。今からの人生の中で海外に行く、外国人との交流に参加する、などの経験を増やし、コミュニケーションの力、人と関わる力を高めていきたい。(3組 女子)



●私は熊大で2日間研修を受け、消極的な自分の姿を感じた。留学生は日本人がシャイだとおっしゃった。まさにその通りだと思うほど皆さん積極的に明るく芯がしっかりある方達だと感じました。私は成長するにつれて、皆の前で発言することが苦手になっていき思い込みの“空気を読んだつもり”が目立つことが嫌になった。日本人には「目

立ちすぎると悪く思われる」と思い込んでいる人が多く、実際そうなのかもしれないが、日本人から積極性が失われていくと様々な問題に直面すると思う。例えば会社でアイデアを出し合う会議で、みんな頭の中には各々良い考えがあるのに、誰も提案できない、周りに流されて妥協案、こうなってはいけないと思うので私はもっと積極的に行動したい。自分の消極的さを感じたのが、先生が「この単語の意味、日本語で分かる人？」と二回ほど言われた時だった…おそらく皆、知っていたはずなのに、誰も答えず、留学生にフォローしてもらった。もっと自分の思いをぶつけることが大事だと思う。私が留学生に「何が若者の犯罪を引き起こす原因だと思いますか？」と質問した時、「ストレスだと思う。日本人は言いたい事や嫌な事を我慢して心に留めておくだろう？少しずつ増えて、限界に達して、爆発するのだよ。」と答えてくださった。留学生はよく日本人のことを理解しているなと感じた。日本人の繊細と言われる心、美しい思いやりの形は消極的とは直結していないはずだ。ストレスを溜めすぎると人生を狂わせる、何かを起こしてしまうかもしれない。私はこの研修を通して留学生から色んな意見を聞き、もっと積極的になろうと思った。このような貴重な体験をさせてくださったたくさんの人に感謝しています。本当にありがとうございました。(7組 女子)



●私が研修に参加しようと思った理由は、外国の方々と実際に1対1で話す機会が今までになかったので、自分の今の英語がどれだけ通じるのか、またどれだけ留学生の話が理解できるのかをしりたかったからだ。研修1日目は緊張と不安な気持ちだったが、ペアの留学生が笑顔で話してくださり、少し緊張が和らいだ。国によって発音が違う単語など分からない時は、例を示して意味を教えてくださいましたので何とか理解することができた。研修の2日目はポスターセッションのための準備をした。ポスターを発表する上で大切なことを2つ学んだ。1つはフォーマル。例えば主語を「私は・・・」ではなく「私たちは」にし、英語の単語を場合に合わせて使い分けることだ。2つ目は発表する時は、相手が聞き取りやすいように、文と文で間をあけて読むということだ。発表はとても緊張したが、何とか発表できてよかった。私がこの研修で考えたことは、日本人と外国人の違いだ。同じ人間であるはずなのに、なぜ日本人は外国人と違って、消極的な人が多いのだろうか。今までにも日本人は、消極的だと言われているのを知っていたが、今回の研修でもその言葉が何度か出ていた。今回、私には違いがはっきりと分かった。例えば、留学生は質問ももちろん、反対意見もはっきり言われていたが、日本人は発表するとなると、自分の中の考えがあったとしても、なかなか手があがらない。また、留学生は日本語を理解できるようになるために休み時間には日本語で少し話すなど自ら発する努力をされていた。しかし日本人は、正解しているか分からない単語や文法は全く声に出さない人が多いと感じる。私は日本人の消極的な姿勢をこれまで気にせず生活していたが、この研修で日本人も積極的になることができると思った。この違いは生活や、子どもの頃の育ち方の違いにあるのだろうと考える。また、学校でも何度も話されているように、単語が分からないと、何を話されても理解することができないし、話せず、何も伝えることができないので、改めて単語は大切だと感じた。これ



から私は、もっと積極的に色々な研修やボランティアに参加してより多くの経験で考え方を広げていきたいと思う。(3組 女子)

●私が郊外研修に参加したのは、英語で話しがしたいと思ったからだ。自分がどれくらい英語で話すことができるのか挑戦してみようと思った。熊本大学について話し合いをしている時、留学生が何を言っているのか分からない事がとても多くて友達に聞いていた。自分が伝えたい事も正確に伝えられないし、止まってしまう事もあった。自分は全然できないと、インタビューの時間も黙っていた。こんな状態ではいけない、頑張ろう！と気持ちを切り替えてできるだけ聞き取ろうと努力してみると、全体の文章ではわからなくても、単語を聞き取って意味を予測することができるようになった。少し違っても留学生が詳しく何度も説明してくださって、言い換えて質問していただき、頑張っただけで伝えようとして、伝わった時はとてもうれしかった。発表した後の質問が難しく、答えるのに時間がかかってしまったけれど、班で話し合っただけで何とか答える事ができ、ポスター作りも協力して、できるだけ分かりやすいように努力したおかげで、1位をとることもできた。この研修を通して諦めずに、話そうとすることが大事だと思った。伝えようと努力したら文法がわからなくても伝わると思う。しかし、もっと伝えられるように、文法を覚え英単語も本気で頑張ろうと思った。(7組 男子)



●私は今回の研修を通して学べたことがたくさんある。まず感じたのは英語を聞き取り、自分の考えや思いを英語で伝える事の難しさだ。普段、英語の授業中しか英語を使わないので、1日中英語を使ってコミュニケーションをするのは今回が初めてだった。習った単語や文法も、いざ話すとなると思いつかず、自分の言いたい事を相手に伝えることができないもどかしさを感じた。しかしこの研修では、英語を使うことで、外国の人ともコミュニケーションがとれるという喜びや楽しさを実感することができた。もっと英語を使えるようになって、色々な国の人とコミュニケーションをとり、互いの考え方を共有したいと思うようになった。英語を使えるようになるだけで、今までよりもずっと自分の世界を広げられ、新たな価値観を持てることで自分の生き方をより良くしていけると思う。そのためにも、これからますます英語の勉強に取組みたい。この研修では、プレゼンテーションをするための準備の大変さや、難しさを学んだ。班で決めたテーマの結論を導くために何を調べればよいか、どんなインタビューをすればよいか自分で考えて資料を集め、集まった資料をどう活用すれば、自分達の結論をより分かりやすく伝えられるか考えていると時間も手間もかかり大変だった。ポスタープレゼンでどんなグラフを使用すればよいか、見ている人のためにどう工夫すれば、理解しやすいか考えて作成していくと、なかなか良いものが完成しなかったが、夜遅くまで班の皆と協力して、ギリギリまで作り上げた時は、大きな達成感を得られた。また、英語でプレゼンテーションをするのは初めてで、少し緊張したけれど、留学生がしっかり聞いてくれたので自分達の考えが伝わっているのだなと感じられ、うれしかった。プレゼンテーションをすることは、大人になり、社会人になってからもあると思うので、今回の経験を活かしつつ、改善し、経験を積んでいけたらよいと思う。これからの学校の活動では自分が決めたテーマに基づいてレポートを作成していくので、今回の研修を通して身につけた考え方や手順を参考に良いものを作っていく。(10組 女子)